

蛍光ファイバーサイトピン編

私がファーバーサイトピンを使い始めたのはかなり昔であり、市販品もなかった頃であったが検討をはじめた理由はあるインドア大会からであった。その日あまり天候がよくないのに加えその会場は明るくないから気になったが、やはり試射をはじめると普通品のリンク付のサイトピンが暗くてピンが見えないのである。そのため練習とは異なり、狙いが付けにくく非常に射ちにくかった。

そこでコンパウンドでは使い始めていた蛍光ファイバーをリカーブのサイトピンに取り付けることを検討した。単純にばねで出来ているピンには取り付けられず、バイターの取り替えられるタイプのピンの蛍光ピンに穴をあけそこに蛍光ファイバーを差して十分な明るさになるよう長くしたら、ファイバーの重さでサイトピンの先端が上に向いてまっすぐ正面に合わせられない。風が吹くとピンがゆれる。仕方がなくリングの中に収まるような厚みのあるプラスチック板を作るはめ込み、中央にファイバーが入るだけの穴をあけ通して厚みを利用して固定した。固定については十分安定したが問題が出た。それは透明なアクリルに穴をあけてみたがわずかなひずみで遠くの的がはずんで見えないことがわかった。



せっかく作ったサイトピンを使うために本当に使えないのか考えてみた。実際に狙いをつけてエイミングしている時は的に目のピントを合わせてサイトピンはぼやけて見えている。そして的とサイトピンは効き目で合わせているが反対側の目も使った的を見ると効き目でないほうで見えるサイトピンも見えて2つ見えているはずである。そのとき両目は同じ的にピントを合わせているわけで、これを利用して改良した方法が以下の方法である。

まず、サイトピンのファイバーの周囲は黒く見えないようにマジックで塗りつぶした。これでコントラスト上がったピンがよく見えるようになった。どうせピンはぼやけているわけだからできるだけ小さな光の点になるように細く、色も良く見える物に替えて見た。これでサイトピンからは的は見えないがこのようにしてあわす。ぼやけるので光の点は小さいほうがいい。まず、効き目ではサイトピンを見ると光の点は見える。つぎに効き目でないほうの目で見た的に焦点を合わせ、その的にのゴールドに多少ぼやけた効き目で見える光の点をあわせることにする。効き目を判断する時にやる方法で、指を一本腕を伸ばした状態を出して的などを見ると指が2本見えますよね。その2つは効き目とそうでないほうの目で見た指ですからその効き目で見た指はずけて見えると思います。つまり透けたサイトピンに的にのゴールドを合わせると同じことと同じです。両目を使用して射っていることになります。両目が良くて視力に差がない場合に使える方法ですが、この方法がいいのかどうかはいまのところなんともいえませんが使えるようになるには時間がかかってしまいました。どうしても次の室内大会までには使いたかったので・・・やってしまった。



このファイバーピンのいいところは室内大会はもちろんフィールドの暗い場所でも光ってくれるのであわせやすく、屋外のアウトドア大会でもファイバーの長さを調整すれば周囲の明るさに応じて変わるので見えにくいという事は少ない。唯一あるとすれば自分の位置が暗くて的前が特に明るい時光りにくいですがこれは普通のピンでも見えにくいと思う。屋内から屋外の的を狙う時など。

明るさを確保する意味でファイバーは長めがよいがとめ方は現在このようになっていて端はテープで止めるほうがストレスがないようだが見た目がいまいち。ピンの反対側に付けたばねで留めることもできるが多少ファイバーにストレスがかかり折れやすいが、市販のねじで留めるほどではない。



ここの問題は後の試作で先端のねじ部を加工して小さな穴をあけたピンを作ってまわりはアルミ板を加工したリング穴を取り付けるものは作った。写真は見えるタイプであるが、現在は元のままの見えにくいままで使っている。

なれとは困ったものでサイトピンからの的が見える物に変更してもそのほうがグレーピングが悪くなってしまったので、現在も見えない？サイトピンのままである。

普通の人には実際見ると不思議がりますが、どんなものでしょうか？

